

特定非営利活動法人児童虐待防止全国ネットワーク 第17回シンポジウム  
【子育て支援者向け研修事業(大規模研修会)】

# 子ども虐待防止に向けた取組の現状と課題

—行政・民間団体・企業・個人など多様な連携の推進—

**日時** 平成24年1月28日(土)  
13:00~16:30 (開場12:30)

**場所** 発明会館 東京都港区虎ノ門2-9-14  
☎03(3502)5499

**参加費** 無料 **申込** 当日、現地申込

(託児を希望する方は、1月20日までに「問合せ・託児申込先」にご連絡ください。)

平成22年度児童相談所の子ども虐待相談対応件数は55,152件となり、10年前の約3倍にも上っています。この件数増は、虐待防止への社会の意識が高まり、以前にも増して虐待通報などが行われるようになったことが考えられます。しかし、一方で、子ども虐待が発生し続けているという現実が存在します。

子ども虐待への対応は、早期発見・対応とともに、発生予防・子育て支援にも取り組んでいく必要があります。早期発見・対応で大きな役割を担う在宅支援を効果あるものとするには、日常的な養育支援、子どもや親とのかかわりが不可欠であり、発生予防には、地域を単位とした子育て支援が必要です。

今回のシンポジウムは、学識経験者及び第一線で活躍されている福祉、医療、行政の方々により、在宅支援や地域における子育て支援の現状と課題、そして今後の方向性についてお話いただきます。

今後のお仕事の進め方や暮らし方に役立つと思われるので、ぜひ、ご参加いただきたくご案内申し上げます。



(愛知県 喜多久美子さんの作品)

## 案内図



地下鉄銀座線 虎ノ門駅 3番出口徒歩5分  
地下鉄日比谷線 神谷町駅 4番出口徒歩6分

問合せ・  
託児申込先

児童虐待防止全国ネットワーク  
電話 03(6380)6380  
メール info@orangeribbon.jp

## プログラム

**基調講演** 子ども虐待防止と虐待対応における在宅支援をめぐる  
**松原 康雄** 明治学院大学教授・副学長  
児童虐待防止全国ネットワーク理事

## シンポジウム

**テーマ** 子ども虐待防止に向けた取組の現状と課題

●シンポジスト(アイウエオ順・敬称略)

**中板 育美** 国立保健医療科学院生涯健康研究部 主任研究官

**成瀬 裕二** 熊本県合志市社会福祉協議会 事務局長

**西尾 寿一** 東京都福祉保健局次世代育成支援担当課長

**森 時尾** 特定非営利活動法人学ボラ・サポート・プロジェクト事務局長

●コーディネーター **松原 康雄**

**主催** 特定非営利活動法人児童虐待防止全国ネットワーク  
財団法人こども未来財団

**後援**(予定を含む)

内閣府、文部科学省、厚生労働省、日本子ども虐待防止学会、公益財団法人SBI子ども希望財団、読売新聞社、東京都、全国社会福祉協議会(全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、全国母子生活支援施設協議会)、全国自立援助ホーム協議会、財団法人全国里親会